

滝沢地域デザイン

「滝沢地域デザイン」とは

滝沢村では、平成12年に、今後の社会情勢を見据え、より快適な生活環境が整備された村の将来像を描き、村民の皆さんの意見を反映した地域ごとの整備方針として「滝沢地域デザイン」を策定しました。村の21世紀前半におけるまちづくりの指針とするものであり、目標年次は平成37年(2025年)となっています。地域の皆さんが、この計画の策定段階から参画しています。

策定期間

平成10年から平成12年

だれが

「地域まちづくり推進委員会」を村内10地区に立ち上げ、1地区平均20～30名の方々が、自治会からの推薦や一般公募で参加しました。
1地区平均5回の会議やワークショップを行い完成しました。

何を

会議やワークショップでは、目的の確認し、実際歩いての地域の点検を行い、地域の将来像を考え、地域の思いをまとめました。また、実現手段の検討を行いました。

まとめ方

各地域ごとに「地域の将来像」、「地域のまちづくり方針」、「実施方法」としてまとめました。